

## 報告第 1 号

### 平成 26 年度事業報告

昨年度同様、障害者支援施設天北厚生園は、利用者の高齢化が徐々に進み生活支援員の人員配置、又は多機能事業所 DO の就労事業にも課題を残しつつも、一体型共同支援事業所すまいるとともに非常に安定した経営となっている。

養護老人ホーム長寿園及び特別養護老人ホーム長寿園は、利用者の重度化による大幅な稼働率の低下、介護職員など人員配置の問題、今年度も引き続き在宅サービス利用者の施設への入所が多く、在宅事業も稼働率の低下傾向により減収、大変厳しい決算となった。

当法人が運営する各事業、決算の概要は次の通りとなります。

一般会計における各拠点区分の状況について、本部拠点区分は、各事業から運営費を繰り入れることにより運営、養護老人ホーム拠点区分 利用者の重度化による支援員の加配により△9,232 千円、特別養護老人ホーム拠点区分 利用者の重度化に伴う稼働率の低下による大幅な減収、短期入所利用率の伸びもあり△3,607 千円の決算となった。

一方、障害者支援施設拠点区分は、47,554 千円、一体型共同生活事業所拠点区分 333 千円(2,018 千円 積立金へ)の繰越金を計上、多機能事業所拠点区分 △5,044 千円の決算となった。

高齢者の在宅事業は、デイサービスセンター サービス区分 当初の町委託料を 2,538 千円上回る支出増、訪問介護サービスセンター サービス区分 ほぼ当初の町委託料での運営、居宅介護支援事業所 サービス区分 町補助金を 629 千円精算する決算となった。

平成 26 年度社会福祉法人南宗谷福祉会一般会計決算の繰越金(総額) 48,739,295 円は、次会計年度に繰り越すこととなります。

平成 26 年度社会福祉法人南宗谷福祉会が運営する事業の概要を、次の通り報告いたします。